



開校 150 周年記念式典を盛大に開催！

校長 戸高 正弘

11月20日(水)午後、本校体育館にて開校150周年記念式典を行いました。ご来賓には、新座市長、市議会議長、教育委員会教育長・委員、歴代校長、三中校区代表校長、学校運営協議会の皆様にご臨席を賜りました。



中庭には、学校の花であるコスモスが、参加者を温かく迎え入れるように花を咲かせていました。地域の方の畑で児童が植えた種を育てていただき、保護

者の皆様に中庭に整備していただきました。

式典は、国歌斉唱、校歌斉唱、実行委員長あいさつ、校長式辞、来賓祝辞があり、その後、記念品贈呈、キャラクター作成者の表彰を行いました。

その後、児童代表の言葉では、6年生代表が今まで頑張ってきたことを紹介し、未来に向かっての決意を「片山っ子宣言」として発表してくれました。

【片山っ子宣言】

一、私たち片山っ子は、「かしこく・たのしく・やさしく・まけない心」で、友達と協力して、何事も最後まであきらめずに挑戦する人になります。

一、私たち片山っ子は、友達や家族を大切に、地域の方々など、お世話になった人に感謝できる人になります。

一、私たち片山っ子は、この片山地域が大好きです。学校や地域をこれからも大切に、ますます素敵な学校、住みよい町にできるよう努力する人になります。

児童全員で元気に頑張っていこうという気持ちになりました。

その後、計画立案委員会児童が「片山小 150

年の歴史」を紹介。写真を提示しながら片山小に関する歴史を紹介していただきました。なんとその途中で、「ゾウキリン」が登場し、児童は大盛り上がりでした！



以前は、校庭の真ん中に楓の木があったり、中学校の校舎があったり、意外な様子に歓声が上がりました。

後半には、歴代校長に直撃インタビューということで児童がマイクを差し出すと、歴代校長の代表からは「以前は、自転車大会というものがあって全国大会に出場したことがある。」「学校の自慢は給食。おいしい給食なので毎日楽しく学校に来ることができていた。」「新型コロナの時には、先生たちと一緒に頭を悩ませながら、いろいろと考え、安全第一で活動を行ってきた。」などの話をいただきました。子どもたちは真剣に話を聞いていました。

最後には、全校児童による「翼をください」の合唱です。体育館一杯に澄んだきれいな歌声が響き、重なり合った素敵なハーモニーに、ご来賓の皆様から称賛の声が寄せられました。

児童全員に記念品としてクリアファイルとトートバッグが渡されました。これまでにご準備いただきました開校150周年記念行事実行委員会の皆様に心より感謝申し上げます。

